函館	(丁業高等	 専門学校	開講年度	令和05年度 (2	 2023年度)	拇	 業科目	7=-	ーケー	 ション英語Ⅲ			
科目基礎		<u> </u>			-025平/文)	X	<del>**</del> 17 LI						
科目番号	CIHTIX.	0183			科目区分		一般 / 必	修					
770亩万 授業形態					単位の種別と単位	<u></u> 台数	履修単位						
開設学科		社会基盤			対象学年	2位数 腹形字位: 1 3							
開設期		後期	工于17	週時間数		後期:2							
			nk 1 fourth editio	1	tice+e-	e-Book (1 year access). National Geogra							
教科書/教	材	Learning	<u> </u>	III. Student book (	With Online Hac	tice i e	DOOK (1)	cai acc	C33). Nuc	.ionai acograpiii			
担当教員		デイヴィ	ッド タケ										
到達目標	票												
2) To und 3) To acc	derstand a quire Engli	emic literac Ind discuss on Sh skills use	y skills global and moderr ful for academic s	n topics uccess									
ルーブリ	ノック		T田も日かたようない去し		無鉄めたないまし	~~ II		+ 503	±1 ~11 ~				
				理想的な到達レベルの目安 Students are able to understand			標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安			
評価項目1	L		and reuse all the learned in class	ne expressions	and reuse most of the expressions learned in class.			unde	Students are not able to understand and reuse any of the expressions learned in class				
評価項目2	2		Students are al grammar know Class.	ole to use English rledge learned in	Students are able to use most of English grammar knowledge learned in Class.			Engli	Students are not able to use English grammar knowledge learned in Class.				
評価項目3	3		Students are al English skills us Engineers	ole to acquire seful for	Students are able to somewhat Students a					are not able to acquire cills useful for			
一		頁目との関			19								
	教育目標 E	スロージ内	INIX										
教育方法													
水戸リガ	ムイナ	Heine m	oaningful and act	nontic content	udonte will boss	me set	ivo cool:	ore and	lictopora	Thoy will			
概要		improve laware of	aningful and authentic content, students will become active speakers and listeners. They will some interesting topics that are essential tools to understand the world we live in. Students will their communication skills in English thanks to constant interaction and stimulation and become current and global issues our world is facing. 内容は公知の情報のみに限定されている										
授業の進め	め方・方法	2. You m 3. Stude	if you feel shy, please try and speak as much as possible. nust always bring the textbook and an electronic or paper dictionary. nts cannot use their cellphones in class, unless clearly indicated. ree to come to my office to practice English conversation about anything you want.										
注意点		very fun Dependii may be i and serid As stude test. 本科目は テスト等 自学自習	pending on the progress of the class, and general level of students, and other circumstances the syllabus by be modified. Also, in case of online classes, students are expected to have the same level of engagemer d seriousness as for in-person classes. students will be continuously working on the the online activities and the essay, there will be no mid-term st. 科目は学修単位(1単位)の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間以外の学修(予習・復習、課題 スト等のための学修)を併せて45時間である。 学自習の成果は [科目別の評価方法] によって評価する。										
		多上の区分											
☑ アクテ	<u>ィブラーニ</u>	ング	☑ ICT 利用	□ ICT 利用 □ 遠隔授業対応				□実	務経験の	ある教員による授			
授業計画	<u> </u>												
	1	週	授業内容			週ごとの到達目標							
	3rdQ		Introduce textboo Unit 1A	k and study tools	5	To be able to intr questions. Write a description			oduce yourself, and ask n of a photo.				
後期			Unit 1B Review			able to plucing the		perly use present tense while selves and asking questions to					
		3週	Halloween			To be able to understand the origin and curre practices of Halloween in English speaking countries.				igin and current n speaking			
		4週	Unit 2			To be able to use present continuous and exprehow you are feeling.							
1.4/4]		L/A	Essay special less	on 1		lessav.	To understand the expectations and rules of t essay. To choose two themes and develop each ofth before making a final choice.						
		5週				before	making a	<u>a final c</u>	hoice.	<u> </u>			
			Unit 3			before To be	making able to tastand how	ılk abou	hoice. t food an	d shopping. To nd non-count			

Page			8週	[	Essay	y Special les	son 2		To be able to write up to 50% of the essay in English. Teacher will check the essays and give advice.					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			9週	l	Unit	nit 5			To be able to use past tense, and express opinons. Students will also learn about the Pay-It-					
### 11월 Unit 8   Students will also be able to write their own profile and describe their personality.  ### 12월   Essay special lesson 3   Students will have at least 80% of the essay completed in English. Teacher will give each students final advice before submission.  ### 13월 Unit 9   To be able to describe your personal habits and routine. Students will also write their plan for the future.  ### 14월   Test Review   To be able to describe your personal habits and routine. Students will also write their plan for the future.  ### 15월   Final Test   To be able to understand the test scopes, and review the essential challenges of the test. Students will also be given time to complete the elearning.  ### 16월   Summary of the lesson and advice   To be able to understand the mistakes made device with the plan for t			10ì	週 Unit		Jnit 7			To be able to talk about your city, its landmarks					
### 4thQ  ### 5	4		11ì	周	Unit	Unit 8			To be able to talk about sports and activities. Students will also be able to write their own					
13週			12ì	12週 Essa		Essay special lesson 3			Students will have at least 80% of the essay completed in English. Teacher will give each					
14週		4thQ	13ì	周	Unit	Init 9			routine. Students will also write their plan for the					
To be able to understand the mistakes made during the test. To be able to understand the basic plot and action of a multimedia authentic material			14ì	周					review the essential challenges of the test. Students will also be given time to complete					
16週   Summary of the lesson and advice   Summar			15ì	周	Final	Test								
分類         学習内容         学習内容の到達目標 英語連用の基礎となる 知識         対応における基本的なリズムやイントネーション、音ののながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 3         別達レベル 授業週           基礎的能力 AP         大文・社会 科学・社会         英語連用能 力の基礎固め         日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3         3           基礎的能力 AP         英語連用能 力の基礎固め         日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3         3           日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3のよの容ができる。 現を用いて英語で話さことができる。 第を開いて英語で話さことができる。 東際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (シェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 3         3           自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120話程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞きめることができる。 中国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 を 1 中国のようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方路 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方路 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。         3           評価割合         Final test         Essay         相互評価         態度         Online Activities         その他 (課題) 合計           総合評価割合         30         40         0         0         0         0         70           場所の能力         30         40         0         0         0         0         70           場所の能力         30         40         0         0         0         0         100           場所の能力         30         40         0         0         0         0         30			16ì	周	Sumi	Summary of the lesson and advice			during the test. To be able to understand the basic plot and action					
分類         学習内容         学習内容の到達目標 英語連用の基礎となる 知識         対応における基本的なリズムやイントネーション、音ののながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 3         別達レベル 授業週           基礎的能力 AP         大文・社会 科学・社会         英語連用能 力の基礎固め         日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3         3           基礎的能力 AP         英語連用能 力の基礎固め         日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3         3           日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3のよの容ができる。 現を用いて英語で話さことができる。 第を開いて英語で話さことができる。 東際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (シェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 3         3           自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120話程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞きめることができる。 中国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 を 1 中国のようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方路 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方路 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。         3           評価割合         Final test         Essay         相互評価         態度         Online Activities         その他 (課題) 合計           総合評価割合         30         40         0         0         0         0         70           場所の能力         30         40         0         0         0         0         70           場所の能力         30         40         0         0         0         0         100           場所の能力         30         40         0         0         0         0         30	モデルコ	アカリキ	-그 <sup>-</sup>	ラムの	学習	内容と到達	目標							
基礎となる 知識         大文・社会 関連の を語画用能力 を語画用能力 を語画用能力 を語画用能力 を語画用能力 を語画用能力 を語画用能力 を記画のでする。         英語連用的 中学生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきっとした発音で語された内容から必要な情報を聞きとることができる。 りとした発音で語された内容から必要な情報を聞きとることができる。 現実に対して、自分の意見や感想を基本的な表現を見まれて、大変に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて支語で話すことができる。 現実際の場面で目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト)を随切に用いることができる。 実際の場面で目的に応じて、基本的ないまコニューケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト)を随切に用いることができる。 は自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 の世別を必要を担いましても多姿勢をもち、教室内外で製造のできる。 の世別を必要を担いましても多数をもち、教室内外で変語で円分でまる。 関型以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で変語で円分できる。 の世別を必要を担いまして、対象を提供して、自分の表のとなどとなことができる。 の世別を必要を担いまして、対象をとなることができる。 の世別を必要をとることができる。 要際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適り、また。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適り、また。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェズチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適り、また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標	票			到達レ	ベル	授業週	
知識 明瞭で間であるような発話ができるよう、免話の発音・アクセントの規則を習得して適的に連用できる。			文・社会英語				聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。							
Poec						知識	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。							
基礎的能力       大文・社会 科学・社会 科学・社会 和学・社会 和学 · 社会 · 社会 和学 · 社会 · 社						力の基礎固	りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで  3							
基礎的能力       大文・社会       英語       英語       実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 ま解に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把 3 規し、情報を聞き取ることができる。							日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。							
大部							面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。							
する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。   毎国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	基礎的能力	人文・社  科学					(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。							
英語運用能力向上のための学習英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。3評価割合Final testEssay相互評価態度Online Activitiesその他(課題)合計総合評価割合304000300100基礎的能力3040000070専門的能力00030030							する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把 3 握し、情報を聞き取ることができる。							
めの学習       平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。       3         実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。       3         評価割合       Final test       Essay       相互評価       態度       Online Activities       その他 (課題) 合計         総合評価割合       30       40       0       0       30       0       100         基礎的能力       30       40       0       0       0       0       70         専門的能力       0       0       0       30       0       30       0							で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。					3		
(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適   3							平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など   3							
Final test     Essay     相互評価     態度     Online Activities     その他 (課題)     合計       総合評価割合     30     40     0     0     30     0     100       基礎的能力     30     40     0     0     0     0     70       専門的能力     0     0     0     30     0     30							(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適  3							
Final test     Essay     相互評価     態度     Online Activities     その他 (課題)     合計       総合評価割合     30     40     0     0     30     0     100       基礎的能力     30     40     0     0     0     0     70       専門的能力     0     0     0     30     0     30	評価割合													
基礎的能力     30     40     0     0     0     0     70       専門的能力     0     0     0     30     0     30	Final test			Essay		相互評価	態度		その他(	也(課題) 合計				
専門的能力 0 0 0 0 30 0 30	総合評価割合 30		30		40		0	0	30	0	100			
			30		40		0	0	0	0		70		
分野横断的能力   0	専門的能力 0		)		0		0	0	30	0		30		
	分野横断的能力 0		0		0		0	0	0	0	0			